

第 10 章 計画の実現に向けて

計画の実現に向けて、今後の検討課題と考えられる項目を以下に示す。

○計画の適切な見直し

それぞれの施策が着実に実現するよう、計画の進捗状況を定期的に確認し、事業スケジュールの見直しを行う。また、計画期間における中間の 5 年目のほか、適切な時期に計画の見直しを行うものとする。

○財源の確保

計画に基づき建替、改善等の事業を進めていくためには、本市の厳しい財政状況や各種政策等を踏まえながら適正・継続的に予算を確保する必要がある。限られた財源の中で、効率的に事業を進めるために計画的な事業の実施と国・県の各種事業制度を積極的に活用していく。

○移転交渉

既に住棟の 1 / 3 が耐用年数を超過している中、これらの用途廃止を円滑に進めるためには、建替事業と移転が重要となる。特に、移転交渉については、移転後の家賃が高額になることや引越し等の作業的な負担、また、住み慣れた土地から離れるといった問題があり、市としての十分な準備が必要である。

こうした問題を解決するため、適正な移転料設定のための財源確保や建替事業による移転先の確保、なるべく近隣での移転を可能にするため、政策空き家による既存住宅の確保等を計画的に進めていく。